

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2004-4763 (P2004-4763A)
 【公開日】平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-001
 【出願番号】特願 2003-111038 (P2003-111038)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 2 F 1/1335
 G 0 2 B 5/30
 G 0 2 F 1/13357
 G 0 2 F 1/13363

【F I】

G 0 2 F 1/1335
 G 0 2 F 1/1335 5 1 0
 G 0 2 B 5/30
 G 0 2 F 1/13357
 G 0 2 F 1/13363

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 11 月 9 日 (2004.11.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 6】

代表的な方法として、輝線光源とバンドパスフィルターの組み合わせで行う手法がある。例えばフィリップス社の特開平 6 - 2 3 5 9 0 0 号公報、特開平 2 - 1 5 8 2 8 9 号公報、特表平 1 0 - 5 1 0 6 7 1 号公報、米国特許第 6 3 0 7 6 0 4 号明細書、独国特許第 3 8 3 6 9 5 5 号明細書、独国特許出願公開 4 2 2 2 0 2 8 号明細書、欧州特許出願公開第 5 7 8 3 0 2 号明細書、米国特許出願公開第 2 0 0 2 / 3 4 0 0 9 号明細書、国内公開第 0 2 / 2 5 6 8 7 号パンフレット、があげられる。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 1 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 1 7】

また、特表 2 0 0 1 - 5 2 1 6 4 3 号公報、特表 2 0 0 1 - 5 1 6 0 6 6 号公報 のように C R T やエレクトロルミネッセンスのような輝線発光する光源 / 表示装置上にバンドパスフィルターを配置する方法があげられる。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 8 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 8 5】
 【発明の効果】

本発明の視野角拡大液晶表示装置は、コントラストが最も高く色再現性が良好な視野角領域にのみ出射光線を集束する。その結果、液晶表示装置から得られる映像は良好な表示品位の領域のみを明るくすることができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0201

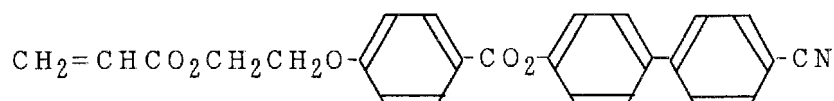
【補正方法】変更

【補正の内容】

【0201】

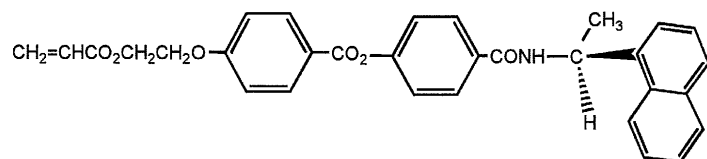
コレステリック液晶ポリマーは、下記化 2：

【化 2】



で表される重合性ネマチック液晶モノマー A と、下記化 3：

【化 3】



で表される重合性カイラル剤 B を、下記表 1 に示す割合（重量比）で配合した液晶混合物を重合することにより作製した。前記液晶混合物は、それぞれはテトラヒドロフランに溶解した 33 重量％溶液にした後、60℃環境下にて窒素パージし、反応開始剤（アゾビスイソブチロニトリル、前記混合物に対して 0.5 重量％）を添加して重合処理を行った。得られた重合物はジエチルエーテルにて再沈分離し精製した。選択反射波長帯域を表 1 に示す。